



第37号
題字 佐田一郎

発行/前橋商工会議所青年部(緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番1号 編集/青年部総務広報委員会

二十年の伝統を礎に新しい創造を!!

代表幹事の一年を振り返って



前橋商工会議所青年部
代表幹事 小曾根 英明

日本経済が大変混迷してゆく中、我々青年経済人は二十一世紀の幕開けの年二〇〇一年を早くも通り過ぎてまいりました。青年部の事業も計画通り各委員長のリリーディングにより素晴らしい成果を上げ実施されましたことを感謝申し上げます。

今年度は、緑水会の伝統を継承しつつ、新しい取組を模索・開拓して行くことを一年間の方針においてまいりました。前橋花火大会では、運営や警備の改善(事務局の提案による機敷席の変更や、花火打ち上げ方法の改善、プロ警備の増強による安全強化)で、青年部員も楽しめる花火大会運営を目指しました。また、前橋まつりにおいては進行・参加の方法を、だんべえ踊りのコース変更、大人みこしの運営・進行方法の変更、文化交流広場の新設等、大々的な変更に踏み切り、将来に繋がる運営ができたものと確信しています。また、前橋市が提案し、推進している市町村合併において、我々青年

部は前橋市民の代弁者としての立場で、いち早く行政との意見交換会などを実施しました。これらの事業は、今年度の方針の中において、『役所との連携で生まれる地域経済活動の推進』の強力な足掛かりになると考えます。今後も地域経済人としての役割をしっかりと自覚し、『元気な前橋作り、元気な前橋経済の振興』を我々の力で実現していかなければと思っております。

最後になりますが、今年度の活動をストップに来年度も会員皆様が飛躍できまことをお祈りしつつ、一年間を支えてくれた会員・事務局の皆様感謝申し上げます。また引き続きご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

副幹事の一年を振り返って



副幹事
狩野 文雄

小曾根代表幹事の元、副幹事としての一年、大過なく無事終了できますことに皆様に感謝申し上げます。

振替って特に印象に残ったことはないですが、強いて上げれば前橋まつりの警備部長を任せつかりながら、二日目は本人が警備されていたことくらいです。また、委員会では事業推進委員会を担当させていただきましたが、二年目の小野委員長をはじめとして、委員会の皆様の出席率の高さや、行動、言動の素晴らしさに驚きました。比較的仕事が多いのにもかわらず、無難にスムーズにこなしたことと思います。私のお出幕などほとんどありませんでした。一年間お世話になりました。ありがとうございました。



副幹事の一年を振り返って



副幹事
嶋田大和

平成十三年度の緑水会の事業計画も、小曾根代表幹事のもと、会員の皆様の活躍・ご協力により無事終了しようとしております。私も副幹事二年目ということ、昨年度よりは理解をしながら活動してきたのではないかと思います。しかしながら、まだまだと感じております。

ここにきて、益々日本の経済状況は厳しくなり、大手企業が倒産のニュースがあとを絶ちません。我々中小企業も、毎日毎日が本当のサバイバル。デフレスパイラルに巻き込まれています。緑水会の会員企業はどっこい頑張っております。企業の存続なくして緑水会活動は存在しません。会員皆様の日々の努力が緑水会の発展に繋がっております。是非ともこの大不景気時代を乗り越えていきましょう。そのためには、緑水会という有能・奇才集団で情報交換・収集をしてほしいと思います。

最後に、会員の皆様、この一年間ご協力ありがとうございました。

副幹事の一年を振り返って



副幹事
山岸直樹

平成13年度は、総務広報委員会・経営研究委員会の担当副幹事をさせて頂きました。また前橋街づくり協議会への出向など私には過ぎた大役をいただいた一年でした。明石の事故などの影響により花火大会の警備体制が変わったり、前橋まつりの運営方法が大きく変わったりと私達が係る行事においても構造改革の年であったと思います。特に前橋まつりは、そのありかたを考え、次への一歩を踏み出した年記念すべき年でした。私は初めてだんべえ踊り部会で活動させて頂いた、まさり運営の難しさを実感しました。

全体を通しては、以前から言われて来たことですが、緑水会の事業が多いがために、消化不良ぎみになっていることがあるように思いました。青年部なのだからどんどん沢山の事業を行うべきの考えもあるかと思いますが、時代背景が変わって行く中で私達も本来の目的をもつ一度見つめ直し、情勢を知り、変化をしていくことが必要だと思えました。ともかく実のある異業種交流の場を目指していきたいと思えます。

委員長を振り返って



総務広報委員長
伴卓

緑水会の総務委員長としての1年間も、残すところわずかになってまいりました。今年は日本の経済環境の悪化もさることながら、ニューヨークで大変衝撃的な悲しい出来事がありました。テロで亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、あそこまで堂々と報復行為を正当化するアメリカ大統領のコメントに辟易し、悲しい気持ちになりました。

さて、今年は委員長として今までにならぬ数の緑水会活動に参加し、緑水会に所属する意義を再確認した年でもありました。人生の先輩、経営者の先輩など、色々な意味での「先輩」に囲まれ、その考え方を聞くことができました。今では緑水会で経験する苦労は、必ずそれ以上のメリットとして返ってくると思えます。来年度の委員長の皆様にも、一生懸命苦労して、それ以上の見返りを得られるように願っています。

最後になりますが、これまで支えていただいた委員会の皆様に感謝します。初めて経験する総務委員会での委員長でしたが、そんな私にやりやすい環境を整えていただいた代表幹事をはじめ本部役員

の皆様、事務局の皆様には感謝いたします。そして緑水会全員の皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

感謝



会員交流委員長
荻野修二

初めに、一年間当委員会の諸事業にご協力戴きましたことに、心より感謝を申し上げます。

年度当初、思い描いた理想の委員会、過去二度の反省を踏まえて今年はこのように、ああもしたい。しかし、現実はいかなか思い通りには行かないもの、委員長経験者は誰も？が思うことでしょう。(担当事務局の井野さんの退職は予想外でしたが)

幸いにも、町田、藤咲両氏に副委員長をお願いしたお陰で、そのフットワークの良さと、若い会員が積極的に委員会に参加してもらえたことで、乗り切ることができたように思えます。

委員会の事業については、ほぼ満足しております。例会を二回、事業を二回担当しましたが、いずれも例年を上回る参加を戴き、初期の目的は達成されたように思います。

月例の委員会では特に若いメンバーの多い当委員会では、例会や事業の段取りや打ち合わせに終始してしまつことが多く、今後の青年部活動の基礎になる連携を深めるための情報、意見交換の時間がより必要だつたように思います。(もつとも、委員会終了後は、老兵を抜きにして楽しんでいたのかも)新入会員の増強についても達成率60%と苦戦しました。25周年を迎える14年度は新しい委員長を迎え、益々活動が隆盛になることを記念し、一年間の反省とします。

経営研究委員長を振り返つて



**経営研究委員長
木暮 一 裕**

初めて経営研究委員長を仰せつかりまして、どうにか一年を乗り切りました。緑水会最初の事業であります、観桜例会を受け持ち、司会を賜つたときの緊張感はいまだに忘れられません。本当の意味での経営研究として、年度初めに目標に掲げました、委員会事業での「新世紀の企業経営の調査・研究」として開催した勉強会では、多数の会員の皆様に出席をいただき、また、ホームページの運営管理も各種案内のメール化、会員企業紹介ホームページの充実等、私自身多少の拡

張ができたと自負する次第でございます。大変未熟な自分でしたが、小曾根代表幹事を初めとする副幹事、特別理事の方々、そして委員会メンバーの皆様にご多大な協力をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。

地域開発委員長を振り返つて



**地域開発委員長
石井 繁 紀**

本年度、地域開発委員会の事業を無事終了することができました。当委員会事業にご協力下さつた皆様と、ご相談に乗つていただいた諸先輩方に感謝いたします。

本年は、当委員会のメインとも言える「十二月地域振興例会」を変更し、ライトアップ事業の一環として「イタリアの夕べ」を開催いたしました。思い起こせば、年度初めには新規事業など考えてもみませんでした。が、「街づくり協議会」に出向し、夏のイルミネーション事業を行うことを聞き、せっかくならその時期に何かイベントを、という気持ちで沸き上がり、委員長のワガママで始めた次第です。時間や予算的制約がある中で、途中課程では無我夢中でしたが、委員会の

メンバー、ご協力いただいた会員の方々、そして青年会議所の皆様には多大なるご協力をいただき、無事に、そして盛況に終わりましたことを改めて御礼申し上げます。

いろいろな人と出会い、そして、前から知り合っている人とも改めて再認識し、勉強させていただいた一年間であつたと思います。

皆様、大変ありがとうございました。そして、委員会の皆様、一年間大変ご苦労さまでした。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

委員長を振り返つて



**專業推進委員長
小野 昌 人**

早いもので私が委員長になって二年の月日が経過し、この三月をもって退任することになりました。皆様には各事業にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

今年度は私自身の至らなさと、チャリティーゴルフや凧揚げ大会など雨降るイベント事業が相次ぎ、皆様ご苦労の多かった年だつたと思います。次年度は良い天気になりますようお願いしております。さて、本年度の私としては緑水会の仲

間と心の底からよく笑い、成功を喜び、時には辛いこともありましたが、本当に充実し、楽しんでいました。また、緑水会活動をする過程で、様々な業種の方々と気軽に話し合えるというすばらしい機会に恵まれ、本業では決して知ることのできない数多くの貴重な体験をしながら、数々の勉強をさせて戴きました。また、私を助け、いろいろな思い出を作つてもらいました緑水会、委員会の皆様一人一人に心から感謝しております。

今後は暫し腑抜け状態を楽しんだ後、緑水会で学んだ知識・視野を肥やしとし、知り合えた友人のご指導のもと、これからの人生を充実あるものと思いたいと思います。



三月に五名の方が卒業されます。在籍期間十六年のベテランの方もおります。この間、様々な思い出があるうかと思ひますので、この紙面でご紹介いたします。

「卒業なされましたも緑水会に対するご指導・ご協力をお願い申し上げます。長い間、本当にご苦勞様でした。」



天野 洋一

平成七年七月に緑水会に入会させていたでいてから、早いもので七年が経過し、卒業の時を迎えました。入会当時の会員交流委員会、河島委員長・西川副委員長を見て、「青年部というより、中部部だ(怒られるかな)と感じたものですが、今となると私自身も若手会員から同様に見られていると思うと、一抹の寂しさがあります。

緑水会で得られた最大の財産は、同世代の仲間を持つことができたと言つことに尽きます。高校卒業以来20年弱前橋から離れ、地元に戻つてからも同業者か、一世代以上年配の方々とお付き合いがほとんどであった私にとって、緑水会に入会していなければ知り合つことができなかった数多くの財産です。

監事を仰せつかった最後の一年のみが人並みの出席率であり、それまでの出席率が低かつたことが今となっては悔やまれます。今までも学校を卒業するとき「もっと勉強しておきよかつたな」などと今回同様の思いを繰り返してきた筈なのに、何とも進歩がないものです。

紹介者になつていただいた小林正明先輩が、会への勧誘時に出席はうるさくないから気軽に考えて...という言葉で甘やかされたと言ひ訳をしつ、卒業します。今までの低い出席率をカバーするため、これからは金を出すけど口は出さないうといふ、現役の方々にとって理想のOBを目指すつもりです。これからは是非気軽に声をかけてください。



伊藤 知昭

商工会議所青年部に入会させていたで、多くの方々と知り合つことができ、私にとっては大変勉強になりました。青年部の事業に参加している中で、地域社会への貢献の在り方や、市民としての意識を改めて認識いたしました。

委員会の皆様や、会議所の方々には大変お世話になり、ありがとございませう。最後に、緑水会の皆様のご繁栄とご活躍をお祈り申し上げます。ありがとございませう。



狩野 文雄

非常に残念でさみし！
平成六年入会より八年間、実に楽しく過ごせました。

大変お世話になりました。青春時代をもう一度やらせていただいたような気がします。

何が楽しかつたか、思い起こせば色々ありましたが、やはり、旅の思い出ですかね。色々な事業やイベントに参加させていただき、経験や勉強等もさせて頂きました。

いずれにしても一番は人間関係！ですね。世間知らずのシャイな私にとって、緑水の人たちに付いていくのが大変でした。でも田舎者の私を暖かく迎え入れていただき、友達・仲間としてお付き合いをしていただき、私も少しですが成長できたと思ひます。

今後は、緑水会時代の経験を活かしていきたいと思ひます。又、機会があればしたら会にも参加したいと思ひますので、現役の人たちにはイベント等頑張つてやっていただきたいと思ひます。

最後に、在籍中は色々な人たちに大変お世話になりました。本当にありがとございませう。



三輪 斉

平成八年一月に入会し、六年間在籍させていただきました。その間、たくさんの方々の先輩、

同僚、後輩の方々と知り合つことができ、大変充実した時間を過ごすことができました。誠にありがとございませう。

入会して感じたことは、この「前橋」を盛り立てていこうとする青年実業家達の熱い思いと、それに伴うボランティアという言葉では言い尽くせないほどの努力、協力 etc などに同調できた喜びでした。

今、前橋、群馬、日本、全世界と経済的そして社会的に大変な時期を迎え、自分たちに何ができるか!!と、問われる時ですが、たとえ小さな一歩であるかもしれないけれど、確かに踏み出すことができるという自信がついたことは、活動を通じての大きな宝 だと思つています。前橋まつり、忘年会、酒の席などで、仲間と過ごした楽しい時間は忘れられない思ひ出です。

最後に、会議所職員の皆様へのお礼と緑水会皆様のご健勝、ご繁栄をお祈り申し上げます。ありがとございませう。



小出 恒通

大変お世話になりました。今後の皆様のご繁栄をお祈り申し上げます。



た なか まこと
田中 真
(昭和44年 8月14日)
H13年 4月 4日入会

企業名 (株)群馬銀行本店営業部
役職名 営業第二部係長
住所 前橋市元総社町一九四



あお き とよはる
青木 豊治
(昭和44年 2月21日)
H13年 4月 4日入会

企業名 (有)アイザック
役職名 常務取締役
住所 前橋市南町三二二一



もり ひで あき
森 秀晃
(昭和48年11月 2日)
H13年 4月 4日入会

企業名 オリックス(株)前橋支店
役職名 営業
住所 前橋市本町一四四

新入会員紹介
平成十三年四月から十四年三月までの新入会員です。



うえ き たけゆき
植木 威行
(昭和46年 1月30日)
H13年12月 4日入会

企業名 (株)フレッセイ
役職名 常務取締役
住所 前橋市力丸町九〇〇



はぎわら まさる
萩原 勝
(昭和49年 9月 6日)
H13年 6月 4日入会

企業名 萩原設備(株)
役職名
住所 前橋市上小出町二二四



てらしま たか お
寺島 崇雄
(昭和46年 1月20日)
H13年 5月 7日入会

企業名 サンケン工業(株)
役職名 取締役
住所 前橋市若宮町一六十四



てら さわ たつ や
寺沢 達也
(昭和44年 8月30日)
H14年 1月11日入会

企業名 石井造園
役職名 盆栽部所属
住所 前橋市東善町二七二



いけした あつ ひろ
池下 敦洋
(昭和45年 2月19日)
H14年 1月11日入会

企業名 池下工業(株)
役職名 主任
住所 前橋市岩神町四十九



え ばら ち か こ
江原 智香子
(昭和48年 1月30日)
H13年12月 4日入会

企業名 相模屋食料(株)
役職名
住所 前橋市鳥羽町二三三

平成14年度前橋商工会議所青年部(緑水会)組織図

(順不同・敬称略)

- ・代表幹事 1名
- ・直前代表幹事 1名(無議決権)
- ・特別理事 2名(無議決権)
- ・副幹事 3名
- ・監事 2名(無議決権)
- ・理事 40名(正副代表幹事含む)
- ・役員合計 45名

会員数102名(4月1日現在)

